

子ども・若者育成支援事業

予算額:5,793 千円

1.目的

不登校やひきこもり等で悩んでいる若者や就労に自信が持てない若者が、社会生活を円滑に営むことができるようにするために、子ども・若者育成支援地域協議会を開催し、福祉や保健、教育、就労支援、医療などの関係機関が連携し、効果的かつ円滑な支援ができる体制を構築するとともに、相談事業や居場所づくり事業、関係機関や地域のネットワークを活用し、対象者やその家族を支援していく。

2.内容

- 不登校やひきこもり等で悩む若者やその家族に対する相談(毎週火曜日・木曜日)や居場所事業(月1日第3火曜日)を実施
- 区民向けの啓発として研修会やフォーラム等を開催

3.令和4年度事業指標・実績

指標:相談 延べ件数350件以上

実績:相談 延べ件数380件

実績内容

- 自立アシスト事業やこどもサポートネット等により支援を受けていた者が、中学校卒業により支援終了後に本事業に円滑につながぐための事前登録制度を実施
- 若者がひきこもり状態からゆるやかに社会との接点を持てるよう、社会福祉施設と連携して「ゆるやかな就労」につなげる仕組みを設置

成果

- 支援継続登録 子ども自立アシスト事業との連携により4名が登録
- ゆるやかな就労支援 R4からの2名が就労日数を増やしている。R5からさらに1名就労開始
- 相談対応 火曜、木曜 各6H(R4より火曜を3→6Hとし新規相談対応を強化)
※R4相談件数:実数57件、のべ件数380件
- 居場所 月1日(第3火曜)
- 研修会、フォーラムの開催
- ケース検討会議(年6回)

課題

- 現在の支援対象者の特性により、居場所が機能していないため、新たな居場所のあり方について検討が必要
- 現在の支援対象者が学生層と長期間ひきこもりの層に偏っており、ゆるやかな就労に移行できそうな者が見当たらない

4. 令和5年度事業内容

指標: 相談 延べ件数350件以上

- 自立アシスト事業やこどもサポートネット等により支援を受けていた者が、中学校卒業により支援終了後に本事業に円滑につなぐための事前登録制度について引き続き実施
- 若者がひきこもり状態からゆるやかに社会との接点を持てるよう、社会福祉施設と連携して「ゆるやかな就労」につなげる取り組みを引き続き実施する。なお、支援対象者に「ゆるやかな就労」に向けた周知を行い、移行できるものの掘り起しに努める
- 支援対象者の特性に応じた効果的な居場所のあり方について検討していく

現在の状況(6月末現在)

相談 延べ件数 87件

内訳 : 対応案件48件 (前年度からの継続46件、当年度の新規2件)

主訴 : ひきこもり20件 不登校7件 学校問題等14件 その他7件